いわき民報

發行所
いわき民報社
平市田町一番地電話三八一番
編輯兼發行人兼印刷人　千輝克己
日刊　但月曜日を除く
定價一ヶ月十円　一部五十錢

檢炭制度の確立へ

常磐炭田の品位向上運動

三千萬トンの目標達成を期するとゝもに、最近炭質がかなり低下しているのにかんがみ常磐炭田では七月一日から九月末まで石炭品位の向上運動をあわせて展開、上質炭の確保をはかることになり、仙台東北地方商工局を中心に、各地區毎に具体計劃を樹立するが先づ差當り監査委員等を設けて檢炭制度の確立をすることになつた、質の向上こそは一般の要望している事なので各方面から大きな期待をかけられている

專業製鹽 轉換を指定

郡下では七工場が

郡山專賣局では縣と協力、四千五百六十四ケ所に上る自給製鹽を燃料及び經濟の兩面から漸次整備するとゝもに鹽のヤミを一掃し、配給の確保をすることゝなり、先づ生産能力のよい十一工場を專業製鹽へ轉換を指定したがうち郡關係は左の七工場である

勿來日本製鹽、勿來內山製鹽、勿來植田味そ統制組合、小名濱保土ケ谷製鹽、四倉縣水産業會製鹽所、四倉富士冷凍工業社、四倉本多製鹽

小名濱の町道改修

小名濱では都市計畫の前提としてなぎさよりの岡小名線に沿う町道を改修し三米の道を五米に擴張し、縣道鹿島線に連絡を取る計畫を樹て目下工を進めているが此線の完成によつて横町通路を緩和し道路の保護ともなるという一擧兩得の工事として大きな期待をかけられている

第一校起債 促進

縣その他に陳情

市では第一小學校復興工事も既に第一期分はほぼ完了したので、二部教授の不便を一日も早く解消させようと、逸早く諸準備を整えいつでも着工し得ることになっているにもかゝはらず、起債問題が解決せぬため着工し得ずにいるが、このまゝでは今冬又も間に合はず兒童達に寒い思ひをさせるからと各方面の協力を求め、認可の促進方を縣その他に陳情することゝなつた

三十日から急行列車復活

二等と食堂車つき

上下各一本ずつか

國鐵では九月から全國で二萬キロの、又十二月からは四萬キロの復活を行い、戰前通りの運行をなす計劃の前提として、三十日から主要幹線の急行を復活するが、常磐線では待望の上野、青森間の長距離急行が上下各一本宛復活されることになつた上、この急行には二等車と簡易食堂が連絡されることになつた、平驛發の時間は左の通り

□上り午前二時二十分（青森發十四時、上野着七時三十五分）

□下り午前一時二十五分（上野發二十一時二分、青森着十三時四十五分）

外科　内科
諸橋鐵彌　松本源一
平市鎌田町
金成醫院
電八二六番

市内のイモ供出始まる

田植を控え市内のジヤガイモ供出もボツ／＼十九日頃から始まつたが既に勝見澤眞似井の二部落から百五十俵バラで平窪配給所及び仲間町配給所に轉げ込んでいるなおこの分でいけば割當完遂も難しくはあるまいとみている

交通道徳昂揚は ヨイコの手で

第一校の兒童の企て

交通道徳の昂揚と子供達に依る事故防止は、自分達ヨイコの手でとその資料調立のために、平第一小學校第一組のヨイコの代表小野和子さん、國井和子さん、關野悦子さん、佐藤千榮子さんの四人は十九日平署に大橋輸送主任を訪問交通取締り上の諸注意を聽いたが、署でもヨイコ達のこの企てには感心、激勵している

法大ナイン、

メンバー決定さる

平俱樂部と常磐炭鑛の兩チームが對戰する事にきまつたスポーツ連盟主催、本社後援の法政大學チームを招いての野球戰は二十三日に迫つたが、法大軍のメンバー左の如く決定したがベストメンバーである

監督藤田（投）關根、服部、松本（捕）芳村若林、田丸（一）土屋原（二）小林、田名網（三）藤江、長谷川（遊）宍戸（左）有川、渡邊（中）後藤（右）山下

誘蛾燈の取付開始

市農業會並びに勸業課では下平窪の靑年有志篤農家等に叫びかけ食糧增産は先づ害虫驅除からと螢光ランプ二百燈の設置を準備中であつたがいよ／＼平工業學校電氣部生徒三十名の應援のもとに二十日から着工、二十二日までにすつかり完了の豫定である

協和化學の爭議解決へ

會社側讓步で

突如の工場閉鎖と全員解雇で爭議中の協和化學勿來工場では、會社側が全員解雇をひつこめて來月一日から工場再開に努力する、この間休業中は給料の六割を支給すると[illegible]線まで讓步、近く正式回答をみることになつた

現在の配給

人口別にみる

市の十五日現在における配給人口は六千八百十五世帶の三萬千六百四十三名でうち丸農關係は五百六十六世帶三千七百十八名、丸炭關係百五十一世帶の七百九十五名となつている前月十五日現在にくらべ三十世帶百十五名の增

ニセ丸農取締り

二十日から一齊に

丸農受配者が多くなり平食營では今月の配給米操作にもまごつき市内に數日の遲配をしたが、市配給課では勸業課と協力これら受配者中には不正者があるものとして二十日から市内一齊取締りを行つている

ヤミ輸送防止

鹽の取締りに

專賣局平出張所では鹽のヤミ搬出を防ぐため今月から輸送の都度年月日、數量、職印の裏書ある輸送證明書を各製鹽組合から出させこれのないものはヤミ流しと見てビシ／＼取締ることになり各警察署に手配した

網泥御用

小名濱町竹町漁夫小野秋男（二八）假名は去月來前後七回にわたり、同町の漁業家三代義勝さん方の網倉庫から揚繰網三百枚を盜み出して同町の網大工金成義重（四七）に一枚七十圓で賣却、更らに金成は之を同町の吉田由三外三名に一枚百圓で賣却していた事發覺、十九日平署に檢擧された

硫安生産開始へ

小名濱日水準備成る

硫安工場に轉換を急いでいた小名濱町日本水素は改造工事や機械のすえつけも完了、去る十五日來試作に乘出していたが、製品試驗にも合格したのでいよ／＼こゝ數日中に本格的生産に乘出すことに決定した、肥料不足のかこたれている折柄縣下の肥料界に一大偉力を加えるものとして大きな期待の的となつている

（久）
平市五丁目
釜屋商店

供米報獎 清酒配給

市勸業課では二十一年產超過供米農家五百九十五戸に對し報獎用清酒二石六斗五升五合が到着したので一俵に對し五合の割で二十一日に配給する

賣家
平屋　十八坪屋根セメント瓦
二十一年三月新築
居間六疊一間。事務室一間。土間
双葉郡久ノ濱町南町（海岸通り）
姓名在社

泉驛まで延長を

小名濱町から陳情

小名濱町では平驛午後四時五十五分發上り列車を最後として午後六時半發列車は湯本終點となつているので仙台福島方面からの歸途連絡が非常に不便を感じているので最後列車の湯本止りを泉まで延長運轉方を水戸管理部へ陳情する事に決し兩三日中樋口町長外委員三名出水する

協和化學が綴工場復活

協和化學の勿來工場問題は別項の如く解決の曙光をみはじめたが、一方綴工場方面も去る十六日の重役會で七月一日から復活、前從業員に優先的に就業せしめ又退職者には六月分の全給を支給することに決した

本社新築落成記念 新作寫眞展開催

△應募　畫題自由（未發表作品）
△大キサ　八ツ切以上
△〆切　七月十日
△搬入先　平市一丁目　西村屋寫眞部　遠藤帽子店
△賞品　十席迄
△展覽　七月十五日　七月十九日　於本社ホール

主催　いわき民報社　磐城寫友クラブ

今曉も米二俵

平署では連日曉の二〇二列車の檢索、取締りを行つているがさつぱり主食のヤミはあとをたゝず今曉も白米二俵糯米一斗を押收惡質者五名を送局した

急讓
日本タイプ　一台
東邦タイプ　一台
完備品格安
平市田町五番地
平土地住宅會社
TL.202.911番

平驛の置引

二十日午前十時半頃平驛待合室で會津東山溫泉の伊藤ふじさん（三二）が手荷物受付台の上に置いた現金六千圓と衣類數點入りのボストンバックと手提行李をチヨツとの間にスラれ青くなつて平署に届出た

いわき寸言

▲上り二〇二列車遂にヤミ列車の異名をとる▲然し平のためには米の人荷が少い折、よき助けとなるか▲事情を知るものは平六時三十分が湯本止りの列車を利用しているとある▲こゝらも見逃さず取締つたらとは一旅客の言、きくべし▲ヤミ買出しするから遲配にも成るといへば遲配だからこそ買出しというどつちが本當か

生徒募集
平洋裁學院
本科　一〇〇名（一ケ年）
速成科　一〇〇名（六ケ月）
夜間科　一〇〇名
願書締切　七月五日
開校　七月十日
◉規則書進呈
東京文化服裝學院
主事　山崎里子
主任　小杉山初子
教師　中川信子
教師　若松サト子
平市紺屋町三二元商業組合跡

眼鏡
專門
各眼科醫指定
視力試驗設備が有ります
亂視眼鏡
玉屋
平市二丁目
電話九一〇番

アイスキャンデー機（單相一馬力モーター付）
一時間製造能力二百本
電氣冷藏庫（單相一馬力モーター付）
右在庫豐富格安迅速提供乞御照會
平市田町五平產業館内
株式會社第一通信工業營業部
電話二〇二、九一一夜間四二一五
工場　横濱市戸塚區舞岡町杉ケ崎

パーマネント
◆メイ化粧品部
◆優良化粧品小間物◆
メイ牛山門下
永山ツル子
平市田町八
メイ美容室

內科
レントゲン科
平市一丁目四九
谷口醫院
谷口孝雄

輸出向テーブルクロス加工講習生募集
一、募集人員　約三十名
通勤、家庭作業希望何レニテモ永續性ヲ特ツ四十歳以下ノ婦人
一、期日　六月廿六日ヨリ七月五日迄（午前八時ヨリ午後四時迄）
一、會場　平地區商業協同組合（紺屋町二二）
詳細ハ會場内講習會事務所ニ問ヒ合セラレタシ
主催者
平市社會事業助成會
平商工會議所
平地區商業協同組合

魚が主食となり得るか

七濱水產業界の實情をみる

食糧危機を突破するため鮮魚や加工水產物まで主食なみとなりお魚類も主食として登場することゝなつたが、以下昨年度の漁獲高を中心に水產業界を打診してみる

どう割當る

米の端境期が不便　この點が大きな惱

昨年の漁獲高は九百三十四萬二千余貫で此のうち縣外移出が二百七十二萬三千二百貫、縣內に九十四萬四千貫で結局縣民の口に入つたのは七百五十六萬三千二百貫という事になる、ほかに鹽にしん、鹽ほつけなど相當多量の加工品も入つている、が漁獲高を月別にみると三月が一番多く百三十九萬六千貫二月、一月が之につぎ反對に少いのは九月の十七萬四千貫で八月、七月、十月の順で次第に增加している、米の端境期が一番水揚量が少いが之は漁獲高の約一割を占めているあぐり網（主としていわし）が十月から四月末までであり、かれい、ひらめ、さめなどの底ひき漁業は十月から六月までの間に行われるからで食糧危機の七、八、九月の間は定置網（さば、あじ、ぶり、たい）と、かつお、まぐろ漁業が行われているだけで底ひき網漁業は禁止期間になると漁夫の半數は新潟、山形、秋田の他縣から出かせぎに來ている關係上歸鄉してしまうからである一方本年度からは縣內漁獲高の約半數を占めている江名、小名濱は農林省指定水揚地となり東京などの大都市に出荷される事になつたので縣內向け配給は昨年度よりも減るかん定になつておりとくに水揚量の少い時が米の端境期となつているが副食物として足らない魚をどう主食として割當るかは今後にとりのこされた大きな問題であり各方面注視の的となつている

磐城七濱の漁船

戰前保有量上廻るか

本年中に四十隻進水

東北海運局小名濱出張所調査による小名濱、江名、四倉、双葉、松川の沿岸五造船所で終戰後建造された新造船は既に四十八隻に達しており、現在建造中のものをあわせると本年度中には更に四十隻が進水、戰前の三百八十三隻を上廻り、東北一の保有量を示して海の幸の增產に乘り出すとある、なお新造船の大型に百トン級で大部分は三、四十トン級の底曳せんが多い

重量檢査も平で

大阪造船の好意

平署管內の自動車重量檢査等は計量機の設備がないため、現在まで福島で行つている始末で、大阪造船所平製鐵所では、そんなことでは不便であるばかりか將來のこともあると今度重量機を提供することになつたので、署でも感激、八幡小路の現檢査場を大阪造船所內に移轉する事ゝなつた

花柳病の豫防協議

平保健所で磐城三郡の關係者を集めて木村縣衞生課長等の臨席を求めて二十日花柳病豫防對策について協議したが二十一日も續行する

高價買入
衣類、書畫、骨董、貴金屬
平市南町　中央會館

纖維商協役員決る

百五十余名の組合員をもつて組織されたせんい商協組石城連合會の役員はこのほど決定、會長に柏原秀藏（平）副會長に江尻甚太郎（小名濱）森永太郎（平）の諸氏がえらばれた

計理士。稅務代理士
桑原トオル
電話（平）815

內鄉町の土藏破り

＝內鄉町白水農

若松利重さん方では土藏を破られ十七日夜衣類二十五點を又隣家の小林榮作さん方でも全夜土藏內から衣類四十九點を盜まれ、十九日平署へ屆け出た

惡戲

めいわくな

客を置去りに列車を走らす

內鄉町白水採炭夫根本勝（一八）沼田滿（一八）何れも假名の兩名は去る九日湯本驛で午前五時十分發下り仙台行列車が全驛に停車中まだ客が乘らない中に、後部で發車合圖をして列車を發車せしめ、驛を狼狽させたことが判り、十八日いづれも平署へ檢擧

開放

投書を歡迎　要望批判結構　紙上とく名可

K坊君の御批判に答ふ

去る十七日貴紙を通じ常磐交通社株式會社に對する御批判には感謝の誠を捧げたと共に糞飯に堪へざる事もあり茲に貴紙に御願いし斷片的に御答ひする

一、バスを天下の公通に投げ放しにするとは君の頭の愚劣さに呆れる公衆の邪魔にならぬ所に車を置けと云ふのか營業上已むを得ず置くのだ君の庭先でも貸して呉れないか總て批判を相手の身になつて謂ふべき事で自動車業も戰前無理なる惡質統制の結果寄合世帶となり車數も增し又汽車の發着と關聯して御客の便を圖り仕方なしに驛前の廣場を拜借使用して居るのに、町外れの邪魔にならぬ所に車を待たせ其所までテク〱御客樣を步かせろと云ふのか

一、一勵行は順序立つて誠に良いと御客樣で悅んで居る方もあるK坊君の樣な立派な人斗りて老人や婦女子に席を讓る樣な道義心の豐かな人斗りあれば結構たが

一、バスガールに花嫁敎育をせよと呑氣な事を申すな申すまでもなく吾々は敗戰國民として祖國日本の爲めに夜を日に繼つて働かなければならぬ危急存亡の時であるK坊君よ先づ自分の妻子に花嫁敎育でもしなさい夫れから政治敎育でも施して代議士にでも出馬させ婦人開放問題でも起しては如何人は自ら實踐して範を他に示すところに價値あり、自巳のまつなすべきことを後廻しにして他を批判したり動かさうとしてもそれは不可能である「思ひやり互にありて暑からず」此意味かK坊君少しでもお判りになつて居るならば私し等の營業にも少しは思ひやり在つては如何です

（H運轉手）

生活と文化

鳥と人生（續）

吉屋貞一

孔雀の雄は奇麗な尾羽根をひろげて、滿艦飾の誇りで、雌に威容を示しているが、鳥類で、雄が雌にくらべて美しいものは、例えばおしどり、かも、雉、金鷄鳥、七面鳥など大分と見受けられる。鳥も華麗なもの、美聲なものは大體に食べては不味いものが多い猛鳥即ち食肉鳥はまづく、猛獸も同樣との話を聞いた。白いおうむは綿のかたまりの如く靜かであるけれども、白い孔雀は何となく物足らぬ。今回國鳥に選ばれた雉は燒野のきぎす、夜の鶴と呼ばれ、母性愛の深い鳥と思はれ、ほととぎすは卵を鶯などの巢に生み放して、鶯に孵化させるとは橫着な先生もあるものだ。雉は極彩色の山鳥というところ。

ワシは祖先代々の嚴穴に住む山賊の親玉、鷹は浪人くづれか、屋羽打ち枯らしても、一寸は格式を殘すけれども何れ劣らぬ侵略主義の一族郎黨であらう。油揚げをさろうトビは同族ながら狡猾なために鷹のエミチーション（模造品）に舞い下つたわけ。ただ一つ覺えの大空の舞は風雅である「梅雨空仰げばとびの舞しており」

鶴は靈鳥と傳えられているが、口から卵は生まぬ。赤い帽子に白のブラウス、黑いスカートは乙なものだけれど、年中首を伸ばして何を待つのか雛を待つのか。啄木鳥はボーリング專門。川せみは川の番人。鳩はこれからは平和の飛行便。人喰人種もいるという南洋の魔境に極樂鳥が棲むのは、地極と極樂が同居と洒落たわけでもあるまい。鳥の大物駄鳥はさ漠の大シャモ、棒のような足で韋駄天走りは先づ雲助。馴らして小荷物の運送に使つたらとは變な空想かも知れぬ。食糧問題の解決には養鳥事業は大切であるから、飼料不足でも研究だけは進めた方がよろしい。いつ迄も白色レグホン一點張りでもあるまい。年產三百個の卵を生む鷄を普及させることは必ずしも夢物語りでは無い鴫は狩人の背にぶら下つたのを見ただけ、「心なき身にも哀れは知られけり鴫立つ澤の秋の夕暮」と西行法師はえい嘆している。都鳥は昔から隅田川などに浮ぶカモメの一種で嘴と足が赤い。「名にし負わばいざこと問わん都鳥わが思う人はありやなしやと」これは業平朝臣の名吟。渡鳥でも鴈は小笠原流の行儀よく空を飛んで近づけぬ。

南方からの珍客燕は五月雨の中を濡羽色の燕尾服、白いチョッキは生帳面、頰に紅付けたところは巡行の旅奇術師と見える。やがて梅雨晴れの空に十八番の燕返しで、蚊取りの術を見物出來るのも間もない筈。ただそのお宿が泥造りは少し粗末過ぎる。でも親子和合は結構。

盃に泥な落し[illegible]むら燕　ば蕉

大津繪に糞落しゆく燕かな　蕪村

南極や北極にいるペンギン鳥は飛ぶことを忘れて氷上に悠々と群れ。現代からも鳥の世界からも離れ姿は鳥中の鈍物か子か。

小名濱町中古衣類組合成る

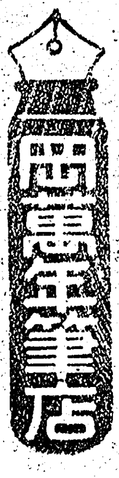
小名濱町の古着商連は今回小名濱中古衣類組合を結成事務所を驛前に設けた、なお二の日に市を開くことゝ初市は二十二日と決つた

御知らせ

去る五日より皆樣御待ち兼ねの各種パン食、委託加工を始めました、當工場も食粉の改良とパン食普及發達の一よくとして電氣應用設備萬端相整ひ多少に問わず迅速食ぜんに御送り致します優秀なる技術者も到着しました。どうぞ宜しく御利用の程御待致し居ります

福島縣パン商工業協同組合
福島縣パン類委託加工組合工場
福島縣食粉工業協同組合
江名町　皆川食品工業所パン工場
工場長　馬上　速
職長　吉田圭實
工場　江名町大字下神白三岬埋立地
小名濱造船會社先
電話（小名濱）三一四番

高級ライター
數種入荷
斯界の最高ポイント
高級プラチナ萬年筆　販賣中
▲修理は親切丁寧に▼　平市三丁目電三九九番



◇小型自動車修理部◇
くろがね
ダットサン
ダイハツ
マツダ
平警察署前通
三浦商會
電八六四番

新案特許建築用
パイプガラス出現！
復興阻害を解決する喜び
◉特約店募集致します
平市長橋町三〇
吉村ガラス商工
特約店
平市長橋町四六
タヒラ
ハナブサガラス商工
（電話）六八九番（振替）東京八五二八九
郡山一〇四三

交カメラと換
平警察署前通
賣大茂の手書

カメラ不足につき最高價格で買戴いたします

銀座街の
阿康（アコウ）
家庭醫藥品の御用は
平市田町
電44番

工作機械
工具　專門取扱
タップ。ダイス。ドリル。ベアリング
其他一般工具類各サイズ在庫乞御照會
日本精密工具株式會社總代理店
スサト商事株式會社
平出張所
平市五丁目一番地（電二七八番）
本社東京都港區芝田村町五ノ

小さな問屋で
大きな勉强
皆樣の便利屋として
サービス本位で進む
安値自信　卸問屋
さかいや商店
平市六丁目（通電四八五番）
木箱賣物アリマス